

山行報告書

(2014.03.26改訂)

日時	平成27年 12月5日(日) 9:00~14:30	天候	曇り
山名	宝満だこしゃん道		
CL	高野	参加者	徳永、前澤、前川、井上、吉田、田坂、高田、藤原、福田、竹崎(体験) 合計11名
(コース)	昭和の森下野駐車場8:00⇒河原谷ルート途中の駐車スペース8:10⇒だこしゃん道分岐8:20⇒宝満山・三群山縦走路10:20⇒三郡山着11:00食事休憩60分:発12:00⇒難所の滝ルート分岐12:30⇒西尾根⇒だこしゃん道分岐14:00⇒河原谷ルート途中の駐車スペース14:10:解散		
(コメント)	<p>だこしゃん道...誰かが「団子がべしゃんこ」という意味じゃないのとか。簡易ハーネス、半マストをリーダーより教わりザイルに次々と下降していく様を見ると道の言われも顔ける...??リーダーの高野さん、サブの高田さん本当に楽しんで登らせていただきました！（藤原）</p> <p>ロープワークを体験できるというので参加しました。下りで2回、半マストで降りました。 ① 先ずスリング、カナピラで 簡易ハーネスの作り方。 ② 半マストの仕方 ③ ザイルを使って急坂を降りる体験が出来ました。 反省点は、下りはコンパスを合わせもせず、降りてしまいました。折角の勉強に行っているはずなのに、もったいない事をしました。 高田さん、高野さん 大変お世話になりました。（前川）</p> <p>アゼリア会での初山行でしたが緊張せず、楽しく参加できました。 また、クライミングロープワークなど実践で学べた事、筋肉の攀りに効く薬が存在した事など、経験者のアドバイスが聞ける環境は入会して良かったと改めて感じました。 高野さん、諸先輩から岩山・雪山に行ける技術を学び、安全で楽しい登山を目指して参りますので今後もご指導宜しくお願いします。（井上）</p> <p>簡易ハーネスと半マストでの懸垂下降は初体験でした。 下降時、いつものように体重を後ろにかけるとテープシュリンゲが背中に食い込んで痛みます。 「普通のハーネスはすごいなあ。」と再認識しました。 半マストでの下降経験は今後役に立つと思います。 久しぶりの会山行はゆっくりペースで何とかついていくことができ楽しかったです。 リーダーの高野さんとお話された高田さんありがとうございました。（福田）</p> <p>何時も山行は楽しく参加させて頂いてますが、今までと又、違う楽しさで一杯でした。急坂の下山途中にての懸垂下降、それに伴う簡易ハーネスの作り方や半マスト結び等楽しみながら覚えて頂きました。 地図読みと同様、私は特に何度も何度も繰り返しにより覚えていけるのだと思うので、このような企画が今後多くなったらよいのにと切に感じました。企画頂きました高野さん。有難うございました。半マストは自信ありませんが、他は大丈夫？です。（徳永）</p> <p>いつもの宝満山に、またまた新しい登山道があることを教えて頂きました。 久しぶりの団体行動、女性8名もの参加でとても賑やかでした。 登山口にて簡易ハーネスや地図読みの復習、教えたり教えてもらったり。 自分では出来ても、人に教えてあげるのは難しい、あれ？おかしいな？と焦ります。 誰かが「どうしてだこしゃん道って名前なんだらうね？」と話していましたが、説明できず。 ずっと沢沿いに歩く道は、夏の沢登りに良さそうでした。 今回、半マスト結びとカラピナで下降するという、新しい方法を学びました。 後で調べると「ムンターヒッチ」とか「イタリアンヒッチ」というようですが、名前が覚えられません(^^ゞ この方法は、専用の下降器が無くてもそれなりの懸垂下降が出来るので、ぜひ覚えておきたいと思います。 欠点としては、ロープが擦れて痛むとのことですが、急な下りの場面で、またひとつ安全に山を歩くための方法を勉強できました。 高野CLをはじめ、ご参加のみなさま、楽しい山行をありがとうございました。（吉田）</p> <p>この秋一番の寒い目にあい、冬が近付いて来るのを感じました。 半マストでの懸垂下降を初体験できて勉強になりました。（田坂）</p> <p>だこしゃん道・ザイル50Mえ、どんなところとちょっと躊躇しましたが、楽しく参加して良かったと思いました。 4年前県連の学校で懸垂下降は体験しましたがカナピナを掛けるザイルの結び方などすっかり忘れていました。 でも下降する時のスリルの楽しさを思い出して本当に楽しかったです。 またこんな山行があったら是非参加したいと思いました。有難うございました。（前澤）</p> <p>今回の山行は、登山学校で習得した読図・簡易ハーネス作成・カラピナを利用した半マスト懸垂下降の実践が出来ました。ルートはあまり使われてないようで、足場が悪い箇所もありコンテや前後の確保の練習を取り入れれば良かったかなと思いました。またこのような安全な技術を練習する山行を増やせていけたらと思います。（高田）</p> <p>山行スタートが1時間遅れてしまい、どうなる事かと思いましたが、登り始めてみると、何事もなく縦走路まで登り上がることが出来、安心しました。ただ、途中までHさんが一緒でしたが、脚の状態が悪く下山したので、心配しました。 縦走路までの最後の登りは、急登でありましたが、着実に登っていく姿はさすがに鍛えている人たちだと感心しました。 下りは地図読みをしながら、急な下りはロープワークの練習としてスリングでの簡易ハーネス、環付カナピラでの半マストによる仮想懸垂を行いました。皆さん楽しく取り組んでいただいている姿を見て、この企画をしてよかったですと感じました。 今後も近場でこのような地図読み、ザイルワークを取り込んだ山行を企画したいと思います。（高野）</p>		

